


吉田美月喜　望月歩　島田歌穂　清水美砂　加藤雅也

天宮良　伊藤洋三郎　阿部進之介　菜月　清水伸　加藤憲史郎　茅本梨々華　パスタ功次郎　江守沙矢　小柳友貴美

監督・脚本＝菅原浩志

プロデューサー＝作間清子　音楽＝佐橋俊彦　撮影監督＝上野彰吾　美術＝長寿恵　録音＝小川武　編集・合成＝時任賢三
助監督＝桑原昌英　主題歌＝島田歌穂「カムイのうた」　主題歌作曲＝島健　アイヌ語・文化監修＝藤村久和　配給＝トリプルアップ　宣伝＝MUSA

協賛／株式会社三菱UFJ銀行 株式会社ホクリク 株式会社モンベル 第一ガス株式会社 美唄市
西山坂田電気株式会社 株式会社盛永組 株式会社北海道新聞社 旭川信用金庫 SATO 社会保険労務士法人
製作／シネボイス　製作賛助／写真文化首都「写真の町」北海道東川町

北海道 東川町 －写真の町－ 写真文化首都

忘れてはいけない壮絶な民族の史実が、胸を揺さぶる。

PG12 映倫
映倫 EIRIN 23201-A

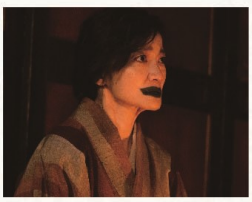


# 語り継がねばならない真実の物語——
# 何一つ許されない、差別と迫害に満ちた
# 民族の史実が、胸を揺さぶる！

全てに神が宿ると信じ、北海道の厳しくも豊かな自然と共存して生きてきたアイヌ民族。日本の北方エリアにおける先住民として独自の文化を築いてきたアイヌ民族は、やがて和人（大和民族）によって差別と迫害の日々を余儀なくされました。
同じ民族ではないという理由だけで——。
本作は、1903年に生まれた知里幸恵という実在の人物をモデルに描いた、アイヌ民族の壮絶な真実の物語です。
彼女の功績は、文字を持たずユーカラという叙事詩で民族の歴史を詠い継いできたアイヌの文化を初めて美しい日本語に訳したとして今も語り継がれています。
決して風化させてはいけない後世に残る感動の作品が誕生しました。







## 主題歌「カムイのうた」




◆歌——島田歌穂
◆作詞——菅原浩志
◆作曲——島健

## コミック情報「カムイのうた」




◆漫画——なかはらかぜ
◆原作——菅原浩志
◆発行者——（株）春陽堂書店

## アイヌの心には、カムイ（神）が宿る。

学業優秀なテルは女学校への進学を希望し、優秀な成績を残すのだが、アイヌというだけで結果は不合格。その後、大正6年（1917年）、アイヌとして初めて女子職業学校に入学したが土人と呼ばれ理不尽な差別といじめを受ける。ある日、東京から列車を乗り継ぎアイヌ語研究の第一人者である兼田教授がテルの叔母イヌイエマツを訊ねてやって来る。アイヌの叙事詩であるユーカラを聞きにきたのだ。叔母のユーカラに熱心に耳を傾ける教授が言った。「アイヌ民族であることを誇りに思ってください。あなた方は世界に類をみない唯一無二の民族だ」教授の言葉に強く心を打たれたテルは、やがて教授の強い勧めでユーカラを文字で残すことに没頭していく。そしてアイヌ語を日本語に翻訳していく出来栄えの素晴らしさから、教授のいる東京で本格的に頑張ることに。同じアイヌの青年・三四と叔母に見送られ東京へと向かうテルだったが、この時、再び北海道の地を踏むことが叶わない運命であることを知る由もなかった…。